

4 教育に対する意見(自由記述)

【設問】 大阪市の今後10年間を見通した教育に対するご意見がございましたら自由にお書きください。／市内在住の方にお聞きします。あなたがお住いの地域(区)の教育に関する課題等がありましたら、ご自由にお書きください。可能であればその解決方法等についても回答をお願いします。

市民247人、保護者1745人、教職員346人から意見が寄せられた。
意見の主な内容については下記のとおり。

(1)教育内容について

(イ) 社会性や公共心に関すること

市民

- ・将来子どもたちが社会の一員として共生していくためには、まずは自尊心を持ち続けながら成長し、他者も尊重できる精神を育む必要があると思います。
- ・一人一人が考えて行動する力、トラブルが起こった時にどうしたら良いかを考えて行動出来るたくましさが必要。一人一人が、自分やその周りの人を大切に出来、思いやりのある行動が出来るような教育を地域、学校、家庭が連携して行えばよい。
- ・自分の考えに基づいて話ができて、他人の意見を聞いて建設的な議論ができる人材を育てて欲しいです。
- ・学力は大切ですが 学力だけの物差しで 人間を評価する教育はどうかと思います。障害のある子供達にも勉強が得意な子供達にも 人間の大切さと 個性を尊重するような教育を望みます。

保護者

- ・社会生活を送る上で規則、ルールを守ることが重要であることを、その根底には人に対する思いやりや配慮が必要であることをちゃんと教育してほしい。
- ・自分で選択する、考える力を子供たちに身につけていってほしいとおもいます。
- ・異なる言語、文化などの国の人たちがいるということだけでなく、たとえ言語や文化が同じでも、それぞれ価値観や考え方が違って当たり前ということを学んで、認め、尊重できるひとがたくさん育ってほしい。
- ・子供の多様性を尊重した教育をして欲しい。
- ・学力向上はもちろん期待しますが、学校教育に関しては特に協調性、社会性を学ぶ場だと思っています。他者を認め尊重し協力して成し遂げる経験などが学校教育でできることを期待します。
- ・どれだけ言語力や知力が上がっても、心が伴わないと意味がありません。道徳教育の充実は必要不可欠だと思います。
- ・お金に関すること、税金に関すること、社会問題になっていることなど、子供が社会で生きていく上で、自ら考え選択し生きていけるような力と知識を教育してほしい。

教職員

・AIが発達してくるだろう、これからの未来に、自分で考え、解決していく力を身につけさせたい。おもいやりの心をもつことの大切さや互いに認めあうことなど、人として大切なことを教えていきたい。

・子どもたちに、たくましく生きる力を育むために、体力向上、コミュニケーション能力の向上、自分の身を自分で守る力、自分で考え試行錯誤する力等の育成が必要と思う。

・自尊心を高める教育が重要視されてきたのはとても大切なことであるが、逆に今の子供の現場は自分のことを大切にせず、ほかの子供のことを考えないようなわがままな子どもが増えてきている。学力と共に、他者を思いやる、規律を守る等の教育が、必要である。

(ロ) 学力向上に関すること

市民

・国際化やIT化に伴い、英語やコンピューターなどの学習の充実が図られているが、それ以前に基礎的な国語力や理解する力が足りていないと感じる。新しいことばかりではなく、それを活用するための基礎力の方が重要ではないだろうか。

・学力の向上、国際社会に向けての子供達の語学力向上、ここに重点を置き、家庭の年収の高さが、子供の学力や高さとは比例しない社会づくりをしてほしい。

保護者

・ゆとり教育からの脱却は進みつつあると感じますが、まだまだ基礎学力向上が必要と思います。

・学力の向上が治安、生活の豊かさにつながると思うので、教育に力を入れてほしいです。

・学力向上がよく言われていますが、学力向上前に、子どもたちの思考力を育てる取り組みが必要ではないでしょうか。

・学力向上の為、平均点以下は補習などあれば親としては嬉しいです自由参加ですと、嫌がって参加しません

・学力の向上を目指すのはいいが、学習の仕方を見直すべき。40年前と同じではダメ。例えば英単語を延々繰り返しノートに書く課題には何の意味もない。反復とはそういうことでない。

・本当に、大阪全体の学力向上を目指すのであれば、共通テストから見える、一つ一つの学校全体の学力の分析と課題をだせる専門的知識の見解、課題に対する解決方法、一人ひとりの基礎学力がどこまで身についているかなど、きめ細やかな分析をして、活かせるようにしてはどうかと思う。

・土曜授業も定期的にあっても良い。

教職員

・教員の負担を軽減し、教材研究、および、生徒にかかわる時間を確保するべきである。

・変化する社会への適応能力をつけるための、ICT教育への取組や外国語活動等への取組は必要だと思います。

・子どもの学力向上は確かに大切なことだが、人との協調性や規範意識の向上はそれ以上に大切である。

・「学力」向上については賛成ですが、「学力」を向上させるためには、学校だけではなく、家庭や地域などの多くの大人の力が必要だと考えます。

(ハ)子どもの夢や個性に関すること

市民

- ・世代間等様々な壁を無くして、思いやりを忘れず、夢を抱ける、心身共に健全な人を育む教育の実現を望みます。
- ・夢を実現させた人、いろいろな職種の人と触れ合う機会を設けてほしい。どのような勉強、努力が、それに必要だったのか、など、生の声を聞いて、自分たちの可能性を真にわかってほしい。
- ・夢は大きく、目標は高く、自分で自分を諦めない！そんな教育をして欲しい。

保護者

- ・行政は各分野で活躍する一流の方を学校に派遣し、夢を持たせる試みにお金を使ってほしい。
- ・将来夢を見つけ、やりたい事を仕事にし、社会人としての自分の生き方を見つけることのできるような、本当の意味での勉強ができる環境作りを期待致します。

(ニ)その他の教育内容に関すること

市民

- ・いじめについての教育を粘り強く行ってください。
- ・子どもたちは学校図書館を活用し、読書に親しむことで、様々な力を育むことができると考える。
- ・大阪市全体の学力をあげたいなら、文化力を1番に強化するべきと考えます。
- ・マナーやルールについては家庭や個人によって意見がバラバラになるので学校で全ての児童が一定の知識を持てるように指導すべきである。
- ・大阪市も様々な地域があることから、平均学力の競争を求める教育施策は賛成できない。各学校の重点課題は、一定でない。

保護者

- ・もっと三年保育の幼稚園をふやすべき。
- ・幼稚園を義務教育化し、幼少期の教育に力をいれてほしい。
- ・習熟度別の授業は非常に良いと感じます。小学校、中学校での広い運用をお願いします。
- ・塾に行かなくて済む、学校教育をお願いしたいです。
- ・中学生の、クラブと勉強のバランスを取る指導を先生方にしてほしい。
- ・教育の現場で急速に進むIT化。。これから生きていく上では大切ですが、子供達にはもっとアナログの不便さも学んで、考える力をつけてほしいと思います。
- ・折角充実した図書館があるのだから、もっと子供達に利用してもらい、読書習慣を身に付けることが本当の基礎学力を押し上げることになるのではないかと思う。

- ・大阪市でも、小学生低学年から何でも辞書を引いてどんどん知らない事を自分の力で発見する喜びを感じれる子供に育て欲しい。そして、率先して先生が褒めて欲しい。
- ・マニュアル通りの教育はもちろんですが、臨機応変力や、自己発信する力、ディスカッションやディベートなどの機会を増やしたらどうか。
- ・現代の日本では、日本の文化や芸能を学ぶ機会が少ないと感じます。グローバル化で英語教育を強化しても、自国の文化を語れない日本人が多いのではないのでしょうか？学校や地域で、日本文化を学び広める活動を永続して行って頂きたいです。
- ・学校での教育が実際に社会生活で役立つようなものにしてほしい。
- ・インバウンド需要に対応できる人材育成。
- ・大阪万博が開かれることもあるし、もっと外国語に力を入れてほしい。
- ・世の中にスポーツ選手、先生、お店やさんや他のサービス業以外にもどのような職種があるのかをよく見せてあげてほしい。
- ・大阪市の教育(教育以外でも)が、いい方向に進んでいることは日頃から感じています。

教職員

- ・各教育現場によって、地域性も違えば、子どもたち個人個人の課題も違うため、もっと一人一人と密に関われるよう、教師1人に対し少人数の学級編成にできるなど、学校ごとの自由度を高めてほしい。
- ・人生100年時代を生き抜くための、学び続ける姿勢、意欲、スキル、そして、それを支える健康な心身の維持の仕方について重点的に学ばせたい。
- ・プログラミング教育に関しては、小中高の専任が必要である。また、一貫したカリキュラム策定を望む。
- ・学力向上ばかりではなく、文化力も向上していかななくてはいけません。子どもたちが、学校でしか体験できない、行事などの達成感などは、非常に大切な体験であると思います。
- ・支援を要する生徒を考えることで、周りの生徒の状況を考えることに繋がると思うので、もう少し特別支援教育に重きを置いて欲しいです。

(2)教育のしくみや体制について

(イ)教職員に関すること

市民

- ・子供の学力をつけるには、教師の質の向上も期待したいところです。
- ・人が違えば指導に極端な差異が生じている。
- ・民間企業のように、賞与、人事評価等も成果給にすべき。
- ・本来、家庭や地域が担う役割についても多くを学校教育に求めすぎている傾向にあると思う。オーバーワークになれば、質の良い教育からも遠ざかるし、お互いが協力して、それぞれの役割を果たすように意識しなければと思います。
- ・学校園の教職員の負担の軽減は急務だと思います。例えばいじめ問題などは専門家や機関、教職員のOBに任せるなど、学習以外の部分で外部の者が積極的に関わるような仕組みが必要かと思っています。そのための予算などを増額も必要かと思っています。
- ・教員が教育に専念できるよう、様々な事務仕事は、行政で対応する。

保護者

- ・30人以下のクラス編成にし、その分、職員採用が必要になってくるが、それも政策の一つではないかと思う。
- ・子どもの学力の向上や先生の働き方改革の為に、小学校も担任がそのクラスの全部の教科を受け持つのではなく、教科別にした方がよいと思います。
- ・大阪市の子供達の学力が低下している問題に対して、行政、学校はもっと危機感を持って欲しい。安心して公立学校に通わせる事が出来るように教育の質を高めて欲しい。一生懸命に取り組んでいる先生もたくさんいるが、中には意識の低い先生もいる。
- ・先生によって、同じ内容でも指導にバラつきがあり、それがクラス間の学力の差になるので、毎週、授業の進め方、指導方法を先生に指導して欲しい。
- ・外国語教育、プログラミング教育など、小学校教諭にさまざまな課題が生まれてきているとともに、教諭のなり手不足が問題となっている昨今。大阪市として、教諭の負担軽減のためにどのような取り組みをするのか期待している。
- ・教員が児童・生徒を「叱る」能力を高める(あるいは維持する)ことが必要と考えます。今の若い先生方は、保護者からのクレームを恐れて、叱れていないように感じます。叱るべきことは叱る、適切な指導を行った先生を学校がしっかりと守る(支持する)ことも大事ではないでしょうか。
- ・子どもと向き合い、授業準備に十分な、時間を使えるようにするための教員の待遇改善、負担軽減が必要です。事務的作業を担う補助的な人を雇用する、などきちんと予算をつけるべき。
- ・先生の知識の更新も行ってほしい。相互の教え方を見合ったり、新しい指導スタイルも取り入れてほしい。古い固定観念で指導するのは子供達にとって不利益です。
- ・定年退職した先生などを教育に携わったことがある指導者に週に2、3度ほど来校してもらい、先生の負担を減らすことも必要。
- ・発達障害がある子供にも分かりやすい授業を個別に対応したり、その知識がある教員が増えてほしい。
- ・英語の授業は必ずネイティブの先生もその度に入ってもらわなければならない。

教職員

- ・小学校における専科教員の配置の充実を望みます。
- ・学校図書館の活用をはかれるように、常勤の学校司書の設置を望みます。
- ・新規採用者の教育力や指導力が年々低下している。優秀な教員志望者が集まるような方策を考えるべきである。
- ・魅力ある生徒の育成には、魅力ある教員を育てること。魅力ある研修の場を開設して参加できる時間が持てるように。
- ・大阪市の学校は何事もきちんとやろうとする、そのことは実は素晴らしいこと誇れることであるが、それがゆえに、現在の教員の数では、一人一人の教員の負担が大きく、疲弊してしまっている教員は少なくない。
- ・働き方改革と名前ばかりが先行し、職員室を早く閉めないといけないうえに残っている仕事は家に持って帰ってやらなければならない。仕事内容の精査、改善が必要

(ロ)教育施策に関すること

市民

- ・学校図書館補助員、コーディネーター等を配置しています。一応の成果はあったとしていますが、まだ十分ではありません。
- ・大阪にもたくさんの外国人児童や生徒、その保護者がたくさんいます。彼らのために、今よりも手厚い日本語サポートが必要です。
- ・少しでも『英語は楽しいものだ』という機会を作っていただければありがたいです。
- ・小中学校は校区があるので、もっと人口の増減の予測をして、早くから対策を立てるべきではないか。
- ・日々教育に携わっている学校の先生方の意見を汲み取ったうえでの施策をお願いします。
- ・子供の好奇心を刺激する取組、グローバル、ICT活用等、いろんなきっかけを与えて欲しい。

保護者

- ・スマホやタブレット、ゲーム等、インターネットに接続する環境にあり、課金やいじめ等問題があると思います。これからもっとそういった媒体が普及していく中、学校でも正しいインターネットの使い方の指導をしていただけると有難いかと思います。
- ・近年、学力向上や子供の興味関心を引き上げるため、教科書も厚くなり副教材も増えたと聞きました。一度増えたものを減らすということは難しいかもしれませんが、校内での管理やデジタル化を10年間で進めてほしいです。
- ・災害に対して生き残る力を身につけてほしい、水難事故の対応ができる訓練など。上向けに泳ぐ方法。救急救命の対応。
- ・不登校の問題があるなら、教職員だけに任せるのではなく違う目で子どもたちを見守ることもひとつの策です。学校内にフリースクールを作って保護者で運営できたらと思います。
- ・ICTを活用した教育の推進は進めてほしい。
- ・子ども達が健康に安全に運動ができる環境整備。例えば、ボールを使える場所やバスケットゴールを増やして欲しい。
- ・一番おどろいたのは、外国にルーツを持つお子さんや、多動気味のお子さんなど、バリエーションに富んだ様々な子が、同じ学級で学んでいる事です。それにより、自然と、自分とは違うところのある他者を尊重する心や、苦手なことは助け合うような精神が育まれていると思います。他者を認め合う事は、グローバル社会での共存上、最も大切な事だと思います。
- ・今後大阪はもっとグローバル化が進むと思います。英語教育の充実と外国語を母国語とする児童への対応はしっかりすべきだと思います
- ・英語コミュニケーション能力は今後もっと必要になると思うので、単なる単語や文章の暗記ではなく、英語でコミュニケーションをとれるようになる様な授業が必要だと思います。
- ・大阪市の学力向上を目指すのならば部活動改革は必須であり、スポーツ推薦入学を無くす、中体連大会を減らすなど、各校部活動のガイドライン違反の現状把握と部活動見直しをすべきである。
- ・周りをみれば、低年齢から、ものすごい数の人が塾へ通わせてます。学校行事もちろん大切ですし、放課後のクラブ活動も大事ですが、皆さんが、学校だけでは足りないと感じてるのが、今の大阪市の教育の現実です。
- ・土曜日の授業も月に2回はあっていいように思います。
- ・一部の学校の過密化の解消が必要
- ・インクルーシブ教育がさらにすすむことを望む。現在インクルーシブ教育とされている教育が、当たり前ものになれば、地域にいじめがなくなるのではないかと思う。
- ・子育てに関しては、どこの家庭も平等にしていきたいです。

教職員

- ・今後大阪には、ますます外国人観光客や外国人勤労者が増えることが予想されます。生徒の数に応じて日本語指導の先生を配置するとともに、日本語指導の初期教室を設置して、基本的な日本語をある程度習得してから、地元の学校に就学させるシステムを確立していただきたい。
- ・多くの学校では不登校生徒の数が増えています。不登校生と専門的にかかわれる人が必要だと思います。
- ・現在行われている学校選択制には、さまざまな課題や問題点があると思われる。学校選択制を継続するにしても、子どもたちにとってよりよい制度にしていくために、検証も必要ではないかと思う。
- ・特別支援教育について、年々支援学級に在籍する児童は増えています。子どもたち一人一人を支援できるような体制の構築を行ってほしい。
- ・大阪市のインクルーシブ教育に対する取り組みは他市に比べても自慢できる部分が多いと感じる。今後ともニーズが大きくなることが予想され、引き続き進めていってほしい。
- ・学校教職員は、本当にやる気と目的意識を持って推進する者ばかりです、学力は大切ですが、子どもの人生丸ごとを見通した教育改革をお願いします。
- ・子ども達に夢を与え続けることが学校教育の大きな役割です。人間教育の楽しさを教職員がやりがいとして感じ、魅力ある仕事となるよう施策の検討を切に願います。
- ・学校だけでは解決し難い問題には法的な対応などをしっかりとする。
- ・全ての基礎となる就学前教育を、現振興基本計画でも示されている通り、人間性の基礎を培うといった観点からも、力を入れて、施策を進めてほしい。

(3) 学校・家庭・地域の連携について

(イ) 家庭教育に関すること

市民

- ・学校でやること、家庭がやることを明確にして、行政で家庭力向上の施策を打ち出す必要がある。
- ・基本的な生活習慣や思いやりの心などは家庭ですべきだと思います。
- ・学力向上ありきの指導では、子どもは育たないような気がします。子どもを育てるのは、やはり、家庭という意識を親に持たせるためにも、親の意識を高めることが大切ではないでしょうか。行政が働きかけて、親を動かしていくことを願います。

保護者

- ・人として、当たり前の、思いやりや、やさしさ、希望を持って、生き抜く力を育てるには、家庭での、親の愛情が、何よりも大切だと思います。
- ・学力は保護者が規則正しい生活、食育をして何事にも興味・好奇心を持たせるように大袈裟に話しかけたり、面倒くささらず付き合っ話話を聞いたり共に行動しないと伸びません。
- ・最近 家庭での学びが出来ていない子供が多いのが目につきます。働いている親が多く、疲れていたり時間がなく余裕のある親子の会話、子供の行動に対する認識が出来て無いのではないかと感じます。
- ・現在の家庭における基礎的な子供に対する教育や支援、保護が少しおざなりになっている様に感じ、学校に頼りすぎではないかと感じ残念に思う。
- ・子供らが競うことをせずに頑張る意識がなくなってきていて何にでもすぐに諦めてしまう。順番をつけるのがダメという親もいるがそれだけではないと思う。
- ・スマホから離れる時を持ち、家庭での会話を増やす。

教職員

- ・学力向上も大切な課題ではあるが人間としての基本的な社会のルールや行動を幼い頃から身につけさせるような躰を家庭の中で確実にやる事が先決です。
- ・夜遅くまで起きていて、朝起きられず、保護者も寝ていて、朝ご飯を食べられず登校する子。そのため、不機嫌で集中力もなく、とても学習する姿勢にはなりません。これは、生活習慣の乱れや貧困等によるものと思われます。行政・学校・地域が協力して、家庭の力を高められるような施策を実行する必要があります。

(ロ) 社会総がかりで子どもをはぐくむこと

市民

- ・親だけでなく、地域全体で子供達を大切に育んでいけたらと思います。
- ・親が子供に伝えるべきモラルを学ぶ機会をつくって欲しい。指導する、補助するのは教師でなく、行政や地域の協力で行い、教師の仕事を妨げない程度が良い。
- ・「大人になっても大阪市に住みたい」と思うようにする必要がある。そのために、地域の良さを感じたり、地域の人たちと交流するような活動に力をいれるとよい。

保護者

- ・まず第一に防犯や事故防止対策に力を入れていただき、子どもが安心して安全に行動できる地域社会の確保をお願いしたいです。
- ・これからどんどん高齢化が進む世の中で子ども達が安全にそして色々な大人に触れる機会を作るためにも各小学校内に老人が集うデイサービスや介護施設を併設し子ども達と大人の交流を増やせば孤独な老人・孤独な子どもが減るのではないかな？と思います。

教職員

- ・学校、地域、家庭と、三者がお互いに協働して、子どもたちをみて、育てていくシステムを構築する。
- ・学校という公教育の場では、基本的な学力の保証や他者とのコミュニケーション、将来へ向けてのキャリア学習などに重点的に取り組み、家庭、地域、行政それぞれで、役割分担を明確にし、互いに補完しあいながら、子どもの育成に取り組む必要があると思う。
- ・学力も体力も、学校だけでは身につけられないと思います。家庭との地域との連携をどのように作り上げていくのかというところの工夫が必要です。
- ・もっとゆとり(時間)があれば、地域で活動したいと思う。自分を含め、働く世代(30-50代)が地域の子どものと接する機会があればよいと思う。子どもが自分の親と先生以外の大人から受ける影響は大きいのでは。世界が広がり夢も広がると思う。
- ・体力づくりについて、環境や地域と連携した活動が少ないように思える。地域と一緒に生涯体育で健康なまちづくりが必要ではないかと思う。

(4)おとなの学び、学校外の活動等

市民

- ・子供達には、運動どころか、遊ぶスペースも少なくなっているので放課後校庭開放に力を入れて欲しい。
- ・地域の大人がボランティア活動として、子供達にもっと関わるシステム構築。
- ・小学校区内の町会と連携して、得意分野を生かして子供達に教える。

保護者

- ・子供の学力の低下は大阪の大人が学んでる姿を見せていないからだと思います。
- ・はぐくみネットを利用し、生涯学習とも連携して、大人も子供も一緒に勉強する環境をつくる。そのことで地域活性化にもつながると思います。
- ・こどもが自由に体を動かすことのできる公園や、運動場を増やしてほしい。大きな声で公園で遊ぶことのできる街にしてほしい。
- ・学校選択性を利用して隣の学区の小学校へ通わせています。満足している一方、地域との関わりが希薄になっています。学校を通じたもの以外にも、もっと在住地域の皆様と関わる機会があると良いと思います。
- ・子供の間の遊び方が多様になってきて、地域で仲間で遊ぶのが少ないような気がします。なにかしらイベントを継続して企画いただき、子供たちを巻き込んで地域参加する機会を増やしてください。

教職員

- ・生涯学習に繋がる学校教育のありかたという視点が大切であると考えます。
- ・地域の公園や広場など、子どもたちが自由に遊べる場所が少なすぎます。

Ⅲ 資料 結果の数表

質問内容	回答	回答			
		市民	保護者	教職員	
あなたの年齢を教えてください。	～29歳	25	43	169	
	30～39歳	116	1,215	233	
	40～49歳	198	2,608	244	
	50～59歳	99	355	271	
	60歳以上	55	8	80	
	無回答	3	16	2	
	計	496	4,245	999	
あなたのこどもの状況を教えてください(複数選択可)。	乳幼児(小学校未就学)	120	1,306	152	
	小学生	235	3,470	154	
	中学生	91	1,245	72	
	高校生	55	524	88	
	その他	111	204	299	
	いない	66	2	397	
	計(延べ合計)	678	6,751	1,162	
	対象人数	496	4,245	999	
【教職員のみ】 あなたの勤務校園種を教えてください。	幼稚園			71	
	小学校			577	
	中学校			275	
	高等学校			74	
	無回答			2	
	計			999	
	あなたは、仕事、家庭生活、趣味、教養、スポーツ、社会問題などに関連して、一定期間継続して学習したことがありますか(学校での授業は除きます)。あてはまるものを1つ選んでください。	1. この1年間のうちにしたことがある	161	1,294	372
2. 1年以上前には、したことがある		114	932	188	
3. 情報があればしたいと思う		58	607	135	
4. していない		157	1,386	299	
無回答		6	26	5	
計		496	4,245	999	
あなたは、これまで継続した学習の経験、や仕事上の経験などを生かして、学校・幼稚園での活動にボランティアで参加してみようと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。		1. 現在している	94	480	83
	2. 時間があればしてみたい	136	1,296	344	
	3. 身近に活動の場があればしてみたい	76	603	188	
	4. 活動に誘われればしてみたい	75	754	131	
	5. したいとは思わない	107	1,089	247	
	無回答	8	23	6	
	計	496	4,245	999	
今の子どもたちについて、どのように感じられますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。	a. 近所の人に会った時は、あいさつをしている。	1. そう思う	127	1,571	117
		2. どちらかといえばそう思う	199	1,814	383
3. どちらかといえばそうは思わない		89	535	305	
4. そうは思わない		64	290	169	
5. どちらともいえない・わからない		6	26	21	
無回答		11	9	4	
計		496	4,245	999	
b. 友達が多く、社会的である。	1. そう思う	83	961	63	
	2. どちらかといえばそう思う	221	2,062	450	
	3. どちらかといえばそうは思わない	110	797	346	
	4. そうは思わない	48	326	110	
	5. どちらともいえない・わからない	24	80	23	
	無回答	10	19	7	
	計	496	4,245	999	

質問内容	回答	回答		
		市民	保護者	教職員
c. スポーツや屋外での活動をよくしている。	1. そう思う	91	1,057	87
	2. どちらかといえばそう思う	147	1,264	303
	3. どちらかといえばそうは思わない	127	1,065	398
	4. そうは思わない	107	797	189
	5. どちらともいえない・わからない	11	42	14
	無回答	13	20	8
	計	496	4,245	999
d. 将来の夢や目標を持っている。	1. そう思う	83	940	64
	2. どちらかといえばそう思う	172	1,537	411
	3. どちらかといえばそうは思わない	101	906	371
	4. そうは思わない	61	510	107
	5. どちらともいえない・わからない	65	319	32
	無回答	14	33	14
	計	496	4,245	999
e. 規則正しい生活をしている。	1. そう思う	104	1,377	50
	2. どちらかといえばそう思う	186	1,741	373
	3. どちらかといえばそうは思わない	96	674	376
	4. そうは思わない	65	341	172
	5. どちらともいえない・わからない	26	45	15
	無回答	19	67	13
	計	496	4,245	999
f. 人の役に立ちたいと思っている。	1. そう思う	88	979	118
	2. どちらかといえばそう思う	188	1,858	504
	3. どちらかといえばそうは思わない	83	642	243
	4. そうは思わない	44	244	72
	5. どちらともいえない・わからない	77	447	49
	無回答	16	75	13
	計	496	4,245	999
g. 自分にはよいところがあると感じ、自分を大事にしている。	1. そう思う	88	1,121	74
	2. どちらかといえばそう思う	215	2,066	469
	3. どちらかといえばそうは思わない	88	556	349
	4. そうは思わない	32	133	68
	5. どちらともいえない・わからない	56	325	30
	無回答	17	44	9
	計	496	4,245	999
h. 読み書きや計算などの基礎的な学力が身についている。	1. そう思う	142	1,739	88
	2. どちらかといえばそう思う	219	1,813	474
	3. どちらかといえばそうは思わない	67	428	284
	4. そうは思わない	20	152	103
	5. どちらともいえない・わからない	35	78	36
	無回答	13	35	14
	計	496	4,245	999
i. 家で勉強をする習慣が身についている。	1. そう思う	83	1,155	43
	2. どちらかといえばそう思う	170	1,639	288
	3. どちらかといえばそうは思わない	109	847	411
	4. そうは思わない	66	448	197
	5. どちらともいえない・わからない	54	96	46
	無回答	14	60	14
	計	496	4,245	999

質問内容	回答	回答		
		市民	保護者	教職員
j. 社会のルールやマナーを守れない。	1. そう思う	36	274	65
	2. どちらかといえばそう思う	110	552	311
	3. どちらかといえばそうは思わない	110	825	385
	4. そうは思わない	213	2,511	215
	5. どちらともいえない・わからない	14	58	14
	無回答	13	25	9
	計	496	4,245	999
	k. すぐに腹を立てる、暴力をふるう。	1. そう思う	26	106
2. どちらかといえばそう思う		81	552	260
3. どちらかといえばそうは思わない		115	898	374
4. そうは思わない		241	2,571	277
5. どちらともいえない・わからない		22	102	21
無回答		11	16	3
計		496	4,245	999
(市民)あなたは、大阪市立学校・幼稚園(以下「学校園」という。)の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。 (保護者)あなたのお子さんが通学している学校園の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。 (教職員)あなたの勤務している学校園の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。				
a. 学校園は、行事や活動内容などの情報を積極的に公開している。	1. そう思う	126	1,491	512
	2. どちらかといえばそう思う	194	2,010	422
	3. どちらかといえばそうは思わない	68	367	39
	4. そうは思わない	50	206	17
	5. どちらともいえない・わからない	45	157	7
	無回答	13	14	2
	計	496	4,245	999
	b. 学校園は、保護者とのコミュニケーションを活発に行っている。	1. そう思う	80	790
2. どちらかといえばそう思う		209	2,100	517
3. どちらかといえばそうは思わない		74	813	67
4. そうは思わない		52	308	8
5. どちらともいえない・わからない		64	202	14
無回答		17	32	5
計		496	4,245	999
c. 学校は、学力の向上に取り組んでいる。幼稚園は、遊びを通して学びにつながる基礎の確立に取り組んでいる。		1. そう思う	127	1,091
	2. どちらかといえばそう思う	212	2,184	416
	3. どちらかといえばそうは思わない	47	497	61
	4. そうは思わない	27	210	14
	5. どちらともいえない・わからない	68	236	14
	無回答	15	27	7
	計	496	4,245	999
	d. 学校園は、健康な体づくりや基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる。	1. そう思う	120	1,121
2. どちらかといえばそう思う		226	2,266	494
3. どちらかといえばそうは思わない		48	417	64
4. そうは思わない		26	134	19
5. どちらともいえない・わからない		61	240	6
無回答		15	67	11
計		496	4,245	999

質問内容		回答		
e. 学校園は、行事や部活動などの課外活動を活発に行っている。	1. そう思う	136	1,246	453
	2. どちらかといえばそう思う	211	2,063	440
	3. どちらかといえばそうは思わない	44	461	63
	4. そうは思わない	30	136	20
	5. どちらともいえない・わからない	50	283	13
	無回答	25	56	10
	計	496	4,245	999
f. 学校園は、地域の人材や施設、伝統文化などを生かした教育を工夫している。	1. そう思う	83	869	274
	2. どちらかといえばそう思う	178	1,854	459
	3. どちらかといえばそうは思わない	92	635	183
	4. そうは思わない	41	207	47
	5. どちらともいえない・わからない	79	614	26
	無回答	23	66	10
	計	496	4,245	999
g. PTA活動や地域と連携した取組みなどが、学校園で積極的に行われている。	1. そう思う	109	1,268	387
	2. どちらかといえばそう思う	203	2,081	460
	3. どちらかといえばそうは思わない	60	359	104
	4. そうは思わない	35	101	27
	5. どちらともいえない・わからない	71	391	13
	無回答	18	45	8
	計	496	4,245	999
h. 学校園の施設が地域に開放され、住民同士の交流が図られている。	1. そう思う	83	751	354
	2. どちらかといえばそう思う	173	1,577	412
	3. どちらかといえばそうは思わない	77	770	129
	4. そうは思わない	62	336	46
	5. どちらともいえない・わからない	82	732	48
	無回答	19	79	10
	計	496	4,245	999
(市民)大阪市立学校・幼稚園(学校園)の印象について、あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。 (保護者)あなたのお子さんが通学している学校園の印象について、あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。 (教職員)あなたの勤務している学校園は、保護者からどのような印象をもたれていると思いますか。あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。	1. 信頼している (教職員 信頼されている)	97	1,358	215
	2. どちらかといえば信頼している (教職員 どちらかといえば信頼されている)	263	2,209	667
	3. どちらかといえば信頼していない (教職員 どちらかといえば信頼されていない)	52	366	45
	4. 信頼していない (教職員 信頼されていない)	35	168	11
	5. どちらともいえない・わからない	36	130	57
	無回答	13	14	4
	計	496	4,245	999
子どもの育成・支援は、学校園・家庭・地域・行政が協働して取り組む必要があります。その中でも、主に誰が中心となって取り組むべきだと思いますか。				
a. 基本的な生活習慣	1. 学校園	19	85	15
	2. 家庭	467	4,113	979
	3. 地域	0	7	2
	4. 行政	2	18	2
	無回答	8	22	1
	計	496	4,245	999

質問内容	回答	回答		
		市民	保護者	教職員
b. 社会のルールを守る規範意識	1. 学校園	153	1,374	271
	2. 家庭	281	2,380	634
	3. 地域	44	345	77
	4. 行政	9	123	16
	無回答	9	23	1
	計	496	4,245	999
c. 望ましい食生活などを通じた健康的な生活の維持	1. 学校園	35	242	44
	2. 家庭	432	3,850	926
	3. 地域	5	26	6
	4. 行政	15	95	22
	無回答	9	32	1
	計	496	4,245	999
d. 地域活動への参加や社会に役立とうとする意識	1. 学校園	165	1,445	221
	2. 家庭	81	664	224
	3. 地域	198	1,782	482
	4. 行政	43	297	64
	無回答	9	57	8
	計	496	4,245	999
e. 社会生活を営むための人とのコミュニケーション能力	1. 学校園	288	2,760	646
	2. 家庭	85	691	217
	3. 地域	89	607	111
	4. 行政	24	132	16
	無回答	10	55	9
	計	496	4,245	999
f. 将来への夢を持ち、生き方を選択する力	1. 学校園	193	1,688	539
	2. 家庭	213	1,915	350
	3. 地域	8	73	23
	4. 行政	61	495	80
	無回答	21	74	7
	計	496	4,245	999
g. 社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ力や学ぶ意欲	1. 学校園	271	2,434	633
	2. 家庭	88	732	151
	3. 地域	23	190	43
	4. 行政	103	837	163
	無回答	11	52	9
	計	496	4,245	999

質問内容		回答		
		市民	保護者	教職員
h. 郷土「大阪」や地域を愛する心	1. 学校園	54	486	177
	2. 家庭	31	262	65
	地域	253	2,241	447
	行政	140	1,184	303
	無回答	18	72	7
	計	496	4,245	999
i. 日常生活の中で必要な知識や技能とその活用力	1. 学校園	192	1,465	482
	2. 家庭	244	2,418	465
	3. 地域	26	171	28
	4. 行政	23	162	20
	無回答	11	29	4
	計	496	4,245	999
j. 運動する習慣	1. 学校園	309	2,824	464
	2. 家庭	105	1,030	389
	3. 地域	42	212	88
	4. 行政	28	153	56
	無回答	12	26	2
	計	496	4,245	999
未来を担う大阪の子どもたちに、特にどのような力を身につけてほしいと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。	1. 夢や目標を持ちその実現に向けて計画的に努力する力	200	1,786	368
	2. 人と協調し、助け合う力	196	1,631	456
	3. 自分の思いを表現したり、人と対話したりする力	178	1,726	316
	4. 困難な課題にねばり強く取り組む力	134	1,189	369
	5. 社会の変化に対応し、自ら学び続ける力	110	917	217
	6. 相手を思いやり、違いを尊重する力	264	2,181	566
	7. 自分によいところがあると感じ、自分を肯定できる力	123	1,255	264
	8. グローバルに活躍するための言語力	66	553	39
	9. ルールを守り、よりよい社会づくりに参加する力	98	571	214
	10. たくましく生きるための健康や体力	95	890	179
	無回答	24	36	9
	回答者数	1,488	12,735	2,997
家庭の教育力を今以上に高めるために、家庭ではどのような取組みが必要だと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。	1. 基本的なしつけや生活習慣の確立に積極的に取り組む	399	3,426	876
	2. 親が子どもと十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる	438	3,886	888
	3. 子どもや親が互いに交流できる場に参加し仲間をつくる	148	1,211	344
	4. 家族と一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる	257	2,508	404
	5. 家庭教育に関する知識や情報を得る	115	1,060	228
	6. 家庭教育に関する講座等の学習に参加する	29	225	44
	7. 子どもの教育や子育てに関して、相談窓口などに相談する	69	383	198
	無回答	33	36	15
	回答者数	1,488	12,735	2,997

質問内容	回答	回答者数		
		市民	保護者	教職員
子どもの健全育成のために、地域住民にのぞまれるのはどのようなことですか。あてはまるものを3つ選んでください。	1. 日頃から地域の子どもの声をかける	311	2,407	608
	2. よその家庭の子どもであっても悪いことをしたときは叱る	232	2,032	461
	3. 近隣との交流を深める	230	1,862	426
	4. 子育てについて気軽に話をする	126	1,017	232
	5. 学校園での活動にボランティアとして参加する	80	684	189
	6. 子どもの安全・見守り活動など、健全育成に関する活動に参加する	212	2,057	464
	7. 子どもに関する地域の集まりやイベントに参加する	130	1,268	209
	8. 地域の伝統や文化を子どもに伝える	86	908	253
	9. 子どもの健全育成のための取組みについて話し合う	48	404	131
	無回答	33	96	24
	回答者数	1,488	12,735	2,997
	次の教育の施策は、現在、大阪市が取組みを進めているものですが、この中で、あなたが今後10年間、特に優先して、重点的に取り組むべきであると思う施策はどれですか。「学校教育の充実」から3つ、「教育コミュニティづくりと生涯学習」から2つ、あてはまるものを選んでください。			
(1)「学校教育の充実」(3つ選択)	1. 学力の向上	224	2,226	511
	2. いじめ・不登校・児童虐待などへの対応の強化	288	2,426	522
	3. 防災・減災教育の充実	74	662	143
	4. 勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方を考える教育の推進	170	1,513	287
	5. 豊かな情操、規範意識、人権意識や公共の精神を育む道徳教育の推進	183	1,382	421
	6. さまざまな障害のある子どもへの支援の充実	75	540	265
	7. 就学前教育の推進	18	131	104
	8. 国際化に対応した英語教育の推進	93	951	64
	9. ICTを活用した教育の推進	40	332	103
	10. 帰国児童生徒や外国人児童生徒等への日本語指導の充実	26	79	75
	11. 健康教育の推進と体力の向上	78	788	179
	12. 教職員の指導力や学校の組織力を高める取組み	195	1,639	317
	無回答	24	66	6
	回答者数	1,488	12,735	2,997
(2)「生涯学習と教育コミュニティづくり」(2つ選択)	1. 小学校区ではぐくみネット活動など、学校園・家庭・地域が協力して地域ぐるみで子どもを育む取組みの推進	202	1,535	441
	2. 地域が子どもの安全を確保するための見守り活動などの取組みの推進	222	2,152	535
	3. 博物館や図書館などの社会教育施設における体験・学習機会の充実	160	1,535	274
	4. 生涯学習ルームなど、学校施設を活用した、子どもと大人がともに学び活動する場や機会の充実	105	838	179
	5. 学習の成果を活用したボランティア活動など、市民協働による教育活動への支援	79	483	207
	6. 学びたい時にいつでも学べるような情報の提供や学習機会の充実	206	1,847	350
	無回答	18	100	12
	回答者数	992	8,490	1,998